

令和3年産米等の作付意向について（第2回中間的取組状況(令和3年4月末時点)）①

- 2年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、4月末時点では、減少傾向38県、前年並み傾向9県、増加傾向0県。
 - 減少傾向とした県のうち、「1～3%程度減少傾向」は28県、「3～5%程度減少傾向」は8県、「5%超の減少傾向」は2県。
 - 4月末時点で各県の作付意向を基に全国の主食用米の作付面積を試算すると、約3.7万haの減少見込。作付転換が必要な6.7万haの5割強に相当。
 - また、加工用米は22県、新市場開拓用米（輸出用米等）は17県、飼料用米は38県が増加傾向と見込まれる。
- 参考：1月末時点からの主な変化
 主食用米：減少19県→38県 前年並み28県→9県、加工用米：増加18県→22県、新市場開拓用米：増加19県→17県、飼料用米：増加31県→38県
- 主食用米からの作付転換が一定程度進んでいるものの、過去最大規模の作付転換等を実現するためには、より一層の取組みが重要。

【令和3年産米等の作付意向（2年産実績との比較、令和3年4月末時点）】

	主食用米			戦略作物							備蓄米
	加工用米	新市場開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 〔稲発酵粗 飼料用稲〕	麦	大豆				
前年より増加傾向	0県			22県	17県	20県	38県	22県	24県	23県	11県
前年並み傾向	9県			7県	7県	10県	4県	17県	12県	13県	9県
前年より減少傾向	38県	1～3%	28県	15県	14県	15県	3県	6県	9県	9県	14県
		3～5%	8県								
		5%超	2県								

注1：令和3年産の意向（増加傾向、前年並み傾向、減少傾向）は、2年産実績との比較。
 注2：比較している主食用米の2年産実績は、令和2年12月統計部公表の主食用作付面積。
 注3：加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の2年産実績は、取組計画認定面積。
 注4：麦・大豆の2年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
 注5：備蓄米の2年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

令和3年産米等の作付意向について（第2回中間的取組状況（令和3年4月末時点）） ②

都道府県	主食用米			戦略作物												備蓄米			
	2年度実績	3年度意向(対前年実績)		加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)		麦		大豆		2年度実績	3年度意向 (対前年実績)
		4月末時点 (今回公表)	1月末時点 (前回公表)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)	2年度実績	3年度意向 (対前年実績)		
全国計	136.6万			45,208		6,089		6,346		70,883		42,791		98,182		85,083		36,503	
北海道	95,300	↘↘	→	5,858	↗	635	↗	51	↘	1,865	↗	574	↗	33,616	↗	18,500	→	389	→
青森	38,300	↘↘	↘	821	↗	255	↗	5	↘	4,403	↗	666	→	598	↗	4,320	↗	5,865	↘
岩手	48,200	↘	↘	1,104	↗	244	↗	71	→	3,589	↗	1,758	↗	3,348	→	3,531	↗	687	↘
宮城	64,500	↘	↘	707	↗	636	↗	145	↗	4,913	↗	2,070	↗	1,662	↗	9,171	→	2,319	↘
秋田	75,300	↘↘	↘	7,850	↗	289	↘	454	↘	1,574	↗	1,107	→	173	↗	7,930	↗	3,689	↗
山形	56,500	↘	↘	3,895	↗	250	↗	128	↘	3,192	↗	930	↗	69	↗	4,562	→	3,877	↘
福島	59,200	↘↘	→	424	↗	41	↘	5	↗	4,933	↗	952	↗	300	↘	669	↗	5,568	↘
茨城	65,500	↘	→	1,351	↘	622	↘	37	→	7,886	↗	535	↗	4,317	→	427	↗	258	↗
栃木	54,900	↘↘↘	↘	1,912	↘	106	↘	811	↗	8,341	↗	1,614	↗	6,902	↗	295	↗	1,399	↗
群馬	13,600	↘	→	1,309	↘	14	↘	325	↗	959	↗	514	→	2,053	↘	88	↗	247	↘
埼玉	30,600	↘	→	124	↘	32	↗	923	→	1,246	↗	118	→	1,718	↗	331	↗	137	↘
千葉	52,500	↘	↘	1,438	↗	12	↘	72	↘	3,822	↗	933	→	454	↗	290	↗	1,391	↘
東京	124	↘	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,990	→	→	-	-	-	-	-	-	10	↗	-	↗	4	↗	6	↘	-	-
新潟	106,700	↘↘	↘	5,056	↗	1,134	↗	1,695	↗	1,876	↗	370	↗	171	↘	3,760	↗	4,731	↘
富山	33,200	↘	↘	1,007	↗	263	↗	120	↗	1,297	↗	449	↘	2,915	↗	3,513	↘	2,487	↘
石川	22,600	↘	↘	404	↘	297	↘	125	↗	548	↗	92	↗	904	↗	847	↗	1,288	↗
福井	23,300	↘	↘	443	↘	279	↘	169	↘	1,073	↗	107	↘	4,679	↗	106	↗	812	↗
山梨	4,800	→	→	68	↗	-	-	8	↗	19	↘	14	↗	52	↗	97	↘	-	-
長野	30,700	→	→	663	↗	114	↗	22	↘	228	↗	204	↗	2,332	→	509	↗	224	↗
岐阜	21,400	↘	↘	962	↘	73	→	30	↘	2,271	↗	205	→	3,336	→	360	↘	69	↗
静岡	15,400	↘	→	138	↗	1	↗	1	↗	1,033	↗	240	↗	230	→	38	→	4	→
愛知	26,400	↘	→	601	↘	26	↗	87	↘	1,298	↗	169	↘	5,245	↗	107	↘	325	→
三重	26,700	↘	→	181	→	82	→	96	→	1,586	→	253	→	6,531	↗	306	↗	-	↗

(注1) 主食用米の「3年度意向(対前年実績) (1月末時点)」、戦略作物及び備蓄米の「3年度意向(対前年実績)」は、2年度実績と比較し、「↗:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↘:減少傾向」で分類。
(注2) 主食用米の「3年度意向(対前年実績) (4月末時点)」は、2年度実績と比較し、「→:前年並み傾向」、「↘:1~3%程度減少傾向」、「↘↘:3~5%程度減少傾向」、「↘↘↘:5%超の減少傾向」で分類。
(注3) 主食用米の「2年度実績」は、2年12月統計部公表の主食用作付面積。
(注4) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「2年度実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「2年度実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。
(注5) 備蓄米の「2年度実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

令和3年産米等の作付意向について（第2回中間的取組状況（令和3年4月末時点）） ③

都道府県	主食用米			戦略作物												備蓄米			
	2年産実績	3年産意向(対前年実績)		加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)		麦		大豆		2年産実績	3年産意向 (対前年実績)
		4月末時点 (今回公表)	1月末時点 (前回公表)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)	2年産実績	3年産意向 (対前年実績)		
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
滋賀	29,700	↓	↓	783	↓	195	↓	28	↓	1,096	↑	251	↑	7,436	↑	441	↑	296	↓
京都	13,800	↓	→	492	↑	21	↑	7	↑	95	↑	117	↑	235	↑	231	↑	-	-
大阪	4,700	↓↓	↓	0	→	-	-	5	→	7	→	-	-	3	↑	6	↓	-	-
兵庫	34,800	↓	→	749	↑	68	↑	43	↓	299	↑	797	→	1,837	↓	1,478	↑	-	-
奈良	8,430	→	→	21	→	0	→	29	→	27	↑	36	→	61	→	20	→	-	-
和歌山	6,250	↓	→	-	-	-	-	1	↑	2	→	2	→	3	↓	14	→	-	-
鳥取	12,800	↓	↓	17	↑	5	→	1	↑	517	↑	323	↑	31	↓	570	↑	79	→
島根	16,800	↓	→	318	↓	2	→	9	↓	682	↑	571	↓	277	↑	574	↑	25	→
岡山	28,900	↓	↓	377	→	109	→	88	↑	1,074	↑	334	↑	1,197	↑	1,071	↑	103	↑
広島	22,000	→	→	364	↓	60	↓	124	↑	293	↑	549	→	280	↓	255	→	4	→
山口	17,800	↓	→	912	↑	122	↓	22	↑	900	↑	345	↓	711	→	747	→	-	-
徳島	10,700	↓↓↓	↓	18	↑	46	↓	12	↑	558	↑	209	↑	53	→	6	↑	114	↑
香川	11,600	↓	↓	39	↑	6	↓	7	→	129	↓	131	→	1,077	↑	48	→	-	-
愛媛	13,300	→	→	76	↓	-	-	2	→	230	↑	150	↑	517	→	320	↓	-	-
高知	11,200	→	→	68	→	-	-	15	→	859	↑	239	→	5	→	59	→	2	→
福岡	34,400	→	→	212	↓	9	↑	281	↑	1,886	↑	1,517	↑	1,180	→	7,898	↓	23	↓
佐賀	23,400	↓	→	390	↓	6	→	23	↑	603	↑	1,523	↑	180	↓	7,619	→	44	→
長崎	11,000	↓↓	→	9	↑	2	↑	6	↓	111	↓	1,244	↑	93	↓	317	↑	2	↓
熊本	32,300	↓	→	748	→	17	↑	222	↓	1,135	↑	7,852	→	738	↑	2,003	→	22	↑
大分	20,000	↓	↓	156	↑	-	-	12	↑	1,355	↑	2,526	→	590	→	1,195	→	18	→
宮崎	14,300	↓	→	1,642	↑	16	↑	17	↓	412	↑	6,656	→	13	↑	204	↓	3	↓
鹿児島	17,800	↓↓	→	1,480	↓	1	↓	10	↑	653	→	3,542	↓	57	↑	246	↑	-	-
沖縄	630	→	→	19	→	-	-	1	→	-	-	3	→	-	-	-	-	-	-

(注1) 主食用米の「3年産意向(対前年実績) (1月末時点)」、戦略作物及び備蓄米の「3年産意向(対前年実績)」は、2年産実績と比較し、「↑:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↓:減少傾向」で分類。
(注2) 主食用米の「3年産意向(対前年実績) (4月末時点)」は、2年産実績と比較し、「→:前年並み傾向」、「↓:1~3%程度減少傾向」、「↓↓:3~5%程度減少傾向」、「↓↓↓:5%超の減少傾向」で分類。
(注3) 主食用米の「2年産実績」は、2年12月統計部公表の主食用作付面積。
(注4) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「2年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「2年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。
(注5) 備蓄米の「2年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。